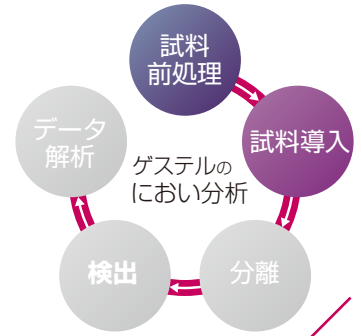


SA-SBSEスターターキット

標準版、完全版



FLEX-Twisterを用いたSA-SBSE^{※1}により、
水系試料中の水溶性／極性化合物を高感度に分析

特許出願中

SA-SBSE^{※1} :

Solvent Assisted Stir Bar Sorptive Extraction

SA-SBSE専用のFLEX-Twisterを有機溶媒に含浸、膨潤させたのちに、スターバー抽出を行います。PDMSと有機溶媒の特徴を兼ね備えた抽出が可能となり、従来のSBSEでは難しかった、水溶性、極性の高い化合物の濃縮が期待できます。

目的に合わせて様々な有機溶媒を選択することが可能です。

※1 特許出願中

SA-SBSE専用のFLEX-Twisterが必要です。従来のTwisterを使用した場合、期待通りの結果が得られない場合があります。



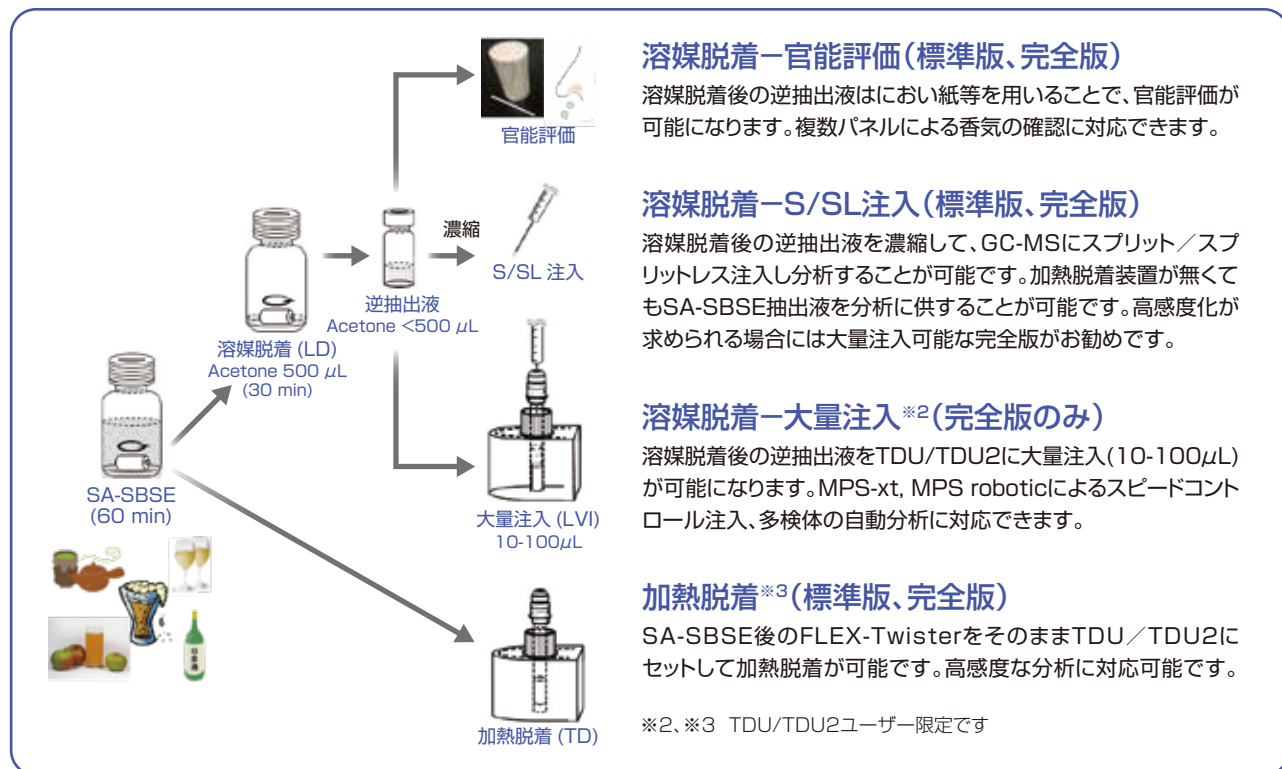
FLEX-Twister
左側:DIPEを含浸したSA-SBSE時のFLEX-Twister、
右側:DIPE含浸前のFLEX-Twister。

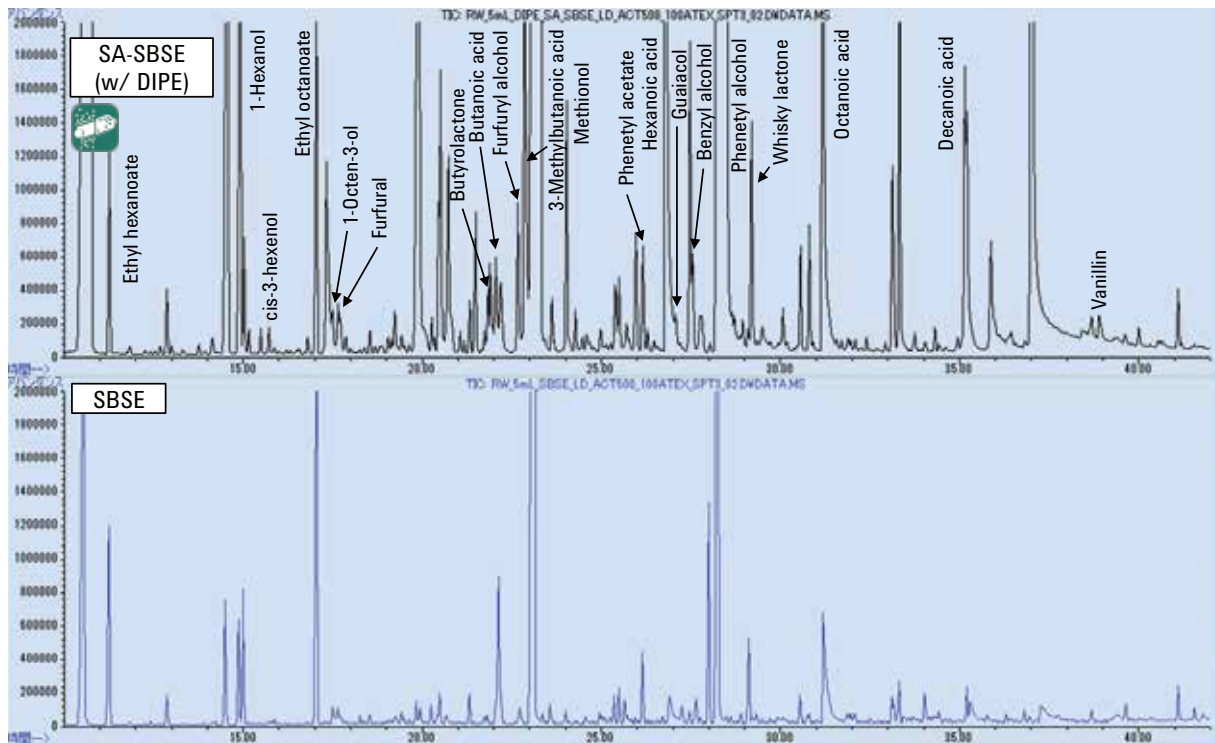


標準版と完全版の2種類のキットから選択。
目的に合わせて様々な試料導入と官能評価に対応

SA-SBSEスターターキットには標準版と完全版の2種類があります。

SA-SBSE抽出後は、目的に合わせて溶媒脱着、加熱脱着を選択可能です。溶媒脱着した場合には、逆抽出液を官能評価に用いたり、S/SL注入、GERSTEL TDU/TDU2を用いた大量注入(完全版のみ)など様々な試料導入に対応することができます。



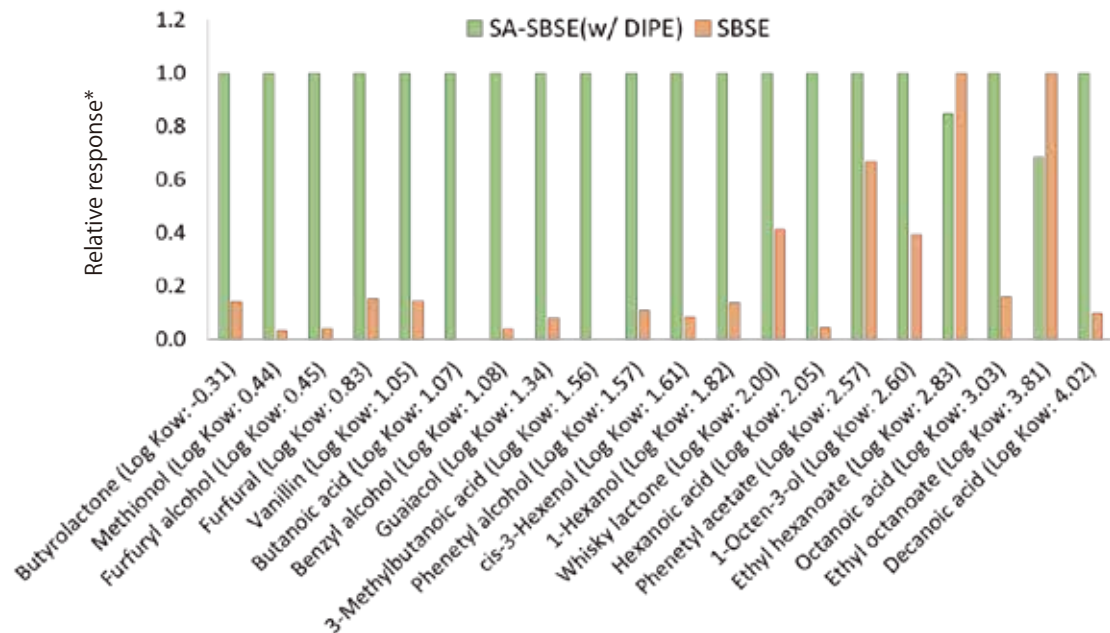


SA-SBSEによる赤ワインの香気成分の分析例

上段:ジイソプロピルエーテルを使用したSA-SBSE、

下段:通常のPDMS Twisterを使用したSBSEの結果。

SA-SBSEの方が検出されている成分が多く、殆どの親水性、極性の香気成分でピーク強度の向上がみられます。



SA-SBSEによる赤ワインの香気成分の分析例

各成分の相対強度の比較 (■ SA-SBSE、■ SBSE)。

Log Kow 2.0以下の香気成分、及び脂肪酸類においてSA-SBSEによる回収率の向上がみられます。